

令和7年 11 月 26 日
記者発表資料

介護事業所の課題を解決するため介護ロボットの改良 を行う開発企業を採択しました！

県では、「さがみロボット産業特区」の取組などを通じて、生活支援ロボットの実用化や普及・活用を推進しています。このたび、在宅型介護事業所の抱える課題を解決するため介護ロボットの改良を行う開発企業を採択しましたので、お知らせします。

1 採択した開発企業

在宅型介護事業所の抱える課題を解決するため介護ロボットの改良を行う開発企業を5件採択しました。詳細は、参考資料をご覧ください。

採択した開発企業	介護ロボット	改良後の効果検証を行う介護事業所
株式会社メティスコム	見守りソリューション”ヴェスタ”	夢見ヶ崎居宅サービスセンター（川崎市）
Hubbit 株式会社	話せる伝言板ケアビー	ケアプランセンター湘南片瀬（藤沢市）
株式会社 BLANCO	DocSplit	こころケアマネステーション（横浜市）
日本ムーブ株式会社	民間救急・介護タクシー専用配車システム「ムーブ」	川崎市社会福祉協議会訪問介護支援事業所（川崎市）
株式会社 NAGARA	ながらかいご	特別養護老人ホームふれあいの麗寿短期入所生活介護（茅ヶ崎市）

2 県による支援内容

県は、最大 750 万円（税込み）まで、介護ロボットの改良及び効果検証に係る経費の一部を支援します。また、事務局（※）が設置する介護ロボットコンサルタントが、改良内容に関する現場ニーズを踏まえた助言等を行います。

（※）受託事業者：株式会社善光総合研究所

3 スケジュール

令和7年11月下旬頃から開発企業による介護ロボットの改良作業を行った上で、令和8年1月頃(予定)から順次、介護事業所に試験導入しての効果検証を開始する予定です。

【参考】開発企業の募集概要

- ・募集期間: 令和7年9月17日(水曜日)から10月10日(金曜日)まで
- ・審査: 取組の有効性や介護事業所への実装可能性等の観点から外部有識者が実施

問合せ先

神奈川県産業労働局産業部産業振興課

課長 高橋 電話 045-210-5630



さがみロボット産業特区グループ 渡邊 電話 045-210-5650


採択した開発企業の概要


採択開発企業	株式会社メティスコム
機器改良を行う 介護ロボット	見守りソリューション”ヴェスタ”
効果検証を行う 介護事業所	夢見ヶ崎居宅サービスセンター（川崎市）
介護ロボットの概 要	<p>ミリ波センサーを活用し、高齢者のプ ライバシー、尊厳を守ることが可能な 見守りソリューション。</p> <p>暗闇での夜間睡眠の見守りや転倒の 早期検知により巡回機会を軽減。</p>
改良予定の内容	<ul style="list-style-type: none">➤ センサーからの情報をインカムに 通知・連携するためのソフト開発 を行う。➤ 通知状態を活字にして共有する ためのファイル管理システムの開 発を行う。➤ 利用者の状態の変化を確認・レ ポート化できるよう改良。



採択開発企業	Hubbit 株式会社
機器改良を行う 介護ロボット	話せる伝言板 ケアビー
効果検証を行う 介護事業所	ケアプランセンター湘南片瀬(藤沢市)
介護ロボットの概 要	認知機能や身体機能が低下した高齢者でも利用可能な見守り機能アプリケーション付きタブレット。
改良予定の内容	<ul style="list-style-type: none">➤ 介護業務の書類作成の効率化のため、ビデオ通話の議事録生成機能を追加。➤ 介護事業所や利用者家族との各種面談をオンラインで日程調整可能とし、ケアマネジャー業務の負担軽減を図る。



採択開発企業	株式会社 BLANCO	
機器改良を行う介護ロボット	DocSplit	
効果検証を行う介護事業所	こころケアマネステーション(横浜市)	
介護ロボットの概要	介護業務である、利用者のケアプラン情報、各種許諾書類、介護報酬関連情報など、FAX や PDF データで受信した書類を自動仕分けを行い業務の効率化を図る。	
改良予定の内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「書類種類」、「対象利用者名」、「事業所内担当者」等を複合的に条件設定して検索可能とする。 ➤ 書面内の介護関連の文章・単語を検索条件に追加して利便性を向上。 	

採択開発企業	日本ムーブ株式会社	
機器改良を行う介護ロボット	民間救急・介護タクシー専用配車システム「ムーブ」	
効果検証を行う介護事業所	川崎市社会福祉協議会訪問介護支援事業所(川崎市)	
介護ロボットの概要	在宅介護サービス利用者が、急な体調不良時等にもスマートフォンにて簡単に民間救急・介護タクシーの配車を自動で行える。	
改良予定の内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 公式 LINE の設置及びアプリとの連携のための改良。 ➤ 主にスマートフォン使用に抵抗のある利用者・介護職員のため、IVR(電話自動応答)システムの設置による介護タクシー手配の利便性向上。 	

採択開発企業	株式会社 NAGARA
機器改良を行う 介護ロボット	ながらかいご
効果検証を行う 介護事業所	特別養護老人ホームふれあいの麗寿 短期入所生活介護(茅ヶ崎市)
介護ロボットの概要	<p>介護士の日常会話からAIが自動で介護記録を作成するサービス。スマートフォンやウェアラブル端末を通じて、食事量やバイタル情報などをリアルタイムで記録し、手書き・入力作業を不要にする。</p>
改良予定の内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 完全ハンズフリーでの音声記録作成機能の追加 ➤ 蓄積された文字起こし情報を活用したAI実装・データ基盤構築 ➤ 音声一時保存機能によるオフライン環境への対応、音声情報へのセキュリティ強化 ➤ 介護請求ソフト・地域包括ケアシステムとの連携に向けたデータ基盤構築